

医師開発・E.U国際特許取得

「天然白身魚魚皮コラーゲン」が 癌患者のQOLを高め、回復を助ける

消化器内科の専門医として年間3300件以上の検査を行う傍ら、ANK療法（免疫細胞療法）で早期癌から進行癌まで多くの患者を救っている新日本橋石井クリニック院長・石井光医師に、癌治療の補完としてのコラーゲンの使い方と選び方についてお話を伺いました。コラーゲン本来の働きを十分に得るためには、材料の品質を厳選する必要があるようです。



石井クリニック京橋エドグラン 理事長
医学博士 石井光 Dr.Hikaru Ishii

昭和47年、日本医科大学卒業。東京女子医科大学外科入局後、旭ヶ丘病院副院長、米国マウントサイナイ病院客員研究員、水野病院内科部長を経て平成8年に新日本橋石井クリニック開業。平成30年5月に石井クリニック京橋エドグラン開業。また、自身が開発したドクターズサプリメントを扱うドクターウエルネス株式会社代表を務める。

癌患者さんの治療の補助にコラーゲンを
お勧めしている医師がいます。

癌患者さんは注射をする機会が多いものです。度重なる注射は血管に大変な負担になりますし、痛みやストレスも重なるでしょう。コラーゲンは点滴や注射に耐えられる丈夫な血管を作りますから、是非積極的に摂取していただきたい。また、抗癌剤の副作用で爪や髪、肌の健康を損なうことがあります。コラーゲンを補っている患者さんからは、副作用の緩和に役立っているとの声を聞きます。胃の基底膜はコラーゲンで出来ているので、萎縮性胃炎や胃癌の回復を助けますし、外科的な傷の回復も早めるので、特に胃癌や術後の方には理想的な栄養素だといえます。飲み方は簡単で、白身魚皮由来の品質の高いコラーゲンであれば、毎朝空腹時、食事の30分前にビタミンCと一緒に冷たい飲み物と摂取するだけです。健康な成人でしたら1日2g、動脈硬化、骨粗鬆および癌

治療で傷んだ血管の改善目的では、1日5gを目安に飲めばよいでしょう。

十分な効果を得るには、何よりもコラーゲンの原材料が大切だとか。

私が患者さんに勧めているのは、「天然の白身魚の皮を使用したコラーゲン」です。養殖の魚は餌や薬物の安全性が心配なので、材料は天然がいかに決まっています。白身魚は体温が低く、皮がやわらかいです。やわらかな白身魚の皮には化学処理は不要。酵素による低温処理で十分なんです。いわば生きているコラーゲンなので生理活性がとても高い。実際に魚皮と豚皮のコラーゲンを同じ分子重量に揃え、試験管内で分解を調べる実験をしましたが、魚皮のほうが7倍分解が早いという結果が出ています。

魚のウロコや豚の皮が材料のコラーゲンと
白身魚のコラーゲンの違いを教えてください。

かたい魚のウロコは強塩酸で化学処理をするから、生理活性が低下しています。食べても身体に上手く取り込まれないので、効かないという感想を持つのは当然です。また豚の皮は靴や靴に使われるほど頑丈でしょう。頑丈ということはそれだけ分解されにくく、分解されにくいことは吸収されにくいということです。

賢いコラーゲンの選び方を教えてください。

メーカーに原材料の問い合わせをしてみるの、一番早いでしょう。結局、お客様相談室に聞いても、材料は魚皮とウロコですといわれるだけです。その比率についても答えてくれないでしょう。ということは、殆どがウロコなんです。ウロコと皮では3倍値段が違います。当然安いほうをメーカーは採用します。市場に出回るウロコは、殆どティラピアのもので、主に中国で養殖されています。安全面、衛生面からいって天然には及びません。コラーゲンに限らず口に

入るものは何でもそうですが、何を使っているのか、どこから来たのか、安全なのか、メーカーはきちんと説明する義務があると思います（表を参照）。

例えば、私が開発したコラーゲンサプリは、E.Uほか数々の国際特許（用途特許）を取得しているほか、2018年度のモンドセレクション金賞を受賞しています。モンドセレクションは、味覚、衛生、パッケージに記載されている成分などが正しいか、消費者への情報提供はなされているかなどが審査される賞です。用途特許は効果効能を示す特許で、本特許とモンドセレクション金賞を併せ持つコラーゲンは世界唯一です。こうして消費者に対して、信頼に値する商品であることを証明しています。しかも一般的なコラーゲンとの価格差は殆どありません。値段が変わらないなら、より品質がよいものを選んでいただきたい。皆さんには是非、賢い選択をして欲しいですね。



石井光・著／幻冬舎・発行 1200円（税別）
ISBN 978-4-344-09096-7

その他、標準治療の問題点やその補完について啓発する『医者の罪と罰』『医者の嘘』『がんと診断されたらANK免疫細胞療法』など、著書多数。

大手食品・医薬品・化粧品会社等のコラーゲン原料調査

2018年TVホスピタル調べ



会社名	魚の種類	部位	天然or養殖	産地	生産履歴	備考
食品大手ME社	ティラピア	ウロコ	養殖	東アジア	あり	
飲料品大手SN社	ティラピア	ウロコと皮 ※比率無回答	不明	中国・タイ	あり	
化粧品大手SI社	タラとその時期に獲れる魚	ウロコと皮 ※比率無回答	不明	中国・タイ・インドネシア	あり	天然か養殖か不明、もしかしたら両方と回答
化粧品・サプリメント大手D社	ティラピア	ウロコ100%	養殖	タイ	あり	ペプチド化するまでタイで生産
加工食品大手MA社	ティラピア	皮100%	養殖	中国	あり	日本人が管理し中国で養殖と回答
大手健康食品YA	ティラピア	ウロコ100%	養殖	タイ	あり	汚染の少ない魚を輸入後、国内自社工場で加工
殺虫剤メーカーE	ティラピア	皮100%	養殖	日本もしくは中国	公表なし	最終加工地は日本と中国と回答
ドクターウエルネス社	ヒラメやタラの仲間	皮100%	天然	大西洋	あり	



会社名	魚の種類	部位	産地	生産履歴	備考
大手化粧品P社	豚と魚	豚皮と魚皮 ※比率は企業秘密と回答	公表なし	公表なし	材料を輸入し、日本の工場での製品化

※ウロコと皮の比率無回答というのは、殆どがウロコだからだと思います。※ウロコと皮の価格差は約3倍になります。